（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援メリーフィールド元山			
○保護者評価実施期間	ー年　ー月　ー日	～	ー年　ー月　ー日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	利用者がいないため行っていません	（回答者数）	
○従業者評価実施期間	2026年　12月　1日	～	2026年　12月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　1月　26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご本人、ご家族と信頼できる関係を築き、 個々の目標に向かって、楽しみながら自らの力で 表現、自立出来るようサポート、ご家族と一緒に成長を 見守り喜びを分かち合えるアットホームな環境を提供していきます	信頼関係を築けるようご家族と、定期的なモニタリング、 茶話会などを開催し、開かれた事業所を目指しています また、児童発達支援管理責任者を中心に、個々の思いや、 願いに添えるよう、個別支援会議で話し合い心豊かな より良い支援に結びつくよう取り組んでいます	気付きがあった場合は、都度皆で話し合い支援方法の 確認、改善に繋げていきます
2	社内研修、県、市の研修にスタッフ全員が積極的に参加し支援の質の向上を図っています	毎月のミーティング時に研修内容を振り返り 業務の効率化、支援の質の向上に取り組んでいます	研修やミーティングに参加できなかった職員には、 個別に内容を伝え、全員が同じ思いで支援出来るよう 心掛けていきます
3	子どもたちが快適に過ごせるよう、毎日の支援室衛生、 スペースの使い方、安全対策など、工夫し支援活動を 行っています	子どもたちが来所するまでの換気、車いすや座位保持椅子の配置や支援活動終了時の掃除、消毒を徹底し 定期的な訓練、BCP計画の見直しなどを行い、 安全、快適に過ごせるよう取り組んでいます	訓練時に、役割分担の確認、定期的なBCP計画の見直し、 職員全員の理解と周知を行っていきます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	座位保持いす車いすを利用する子どもの割合から 支援活動スペースが十分ではないことです	在籍している子どもたちの大半が、 車いすや、座位保持椅子を必要とするため、 十分なスペースが確保しにくい状況です	活動内容によって、車いすや座位保持いすを別室に 移動する等し、活動スペースを広げ、安全第一に 支援活動を行っていきます
2	第三者による外部評価を行っていません	外部評価を行っていないことで、 業務内容、支援活動等の客観的な視点での改善を 図れない状況です	外部評価を行うことで、客観的視点からの 業務内容、支援活動の質の向上が図れると考えています
3	児童クラブや児童館での地域の子どもたちとの交流、 きょうだい児向けのイベント、交流等開催できていません	児童クラブや児童館への訪問は車いす等 利用している在籍児童にはサポートが難しく、 きょうだい児向けのイベントも開催を実現できていない 状況です	今年度は、バリアフリー対応の児童館など検索し、 訪問、また定期的に依頼している「よみがたり」の開催を きょうだい、地域の方々にも周知して交流の場を 設けたいと思います

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援メリーフィールド元山

公表日　2026年　1月　26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	4	対象児童がいないため何も行っていないが 活動内容に合わせ都度工夫しスペースを 活用していきます	活動スペースの整理整頓を行い、 安全第一に活動していきます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		対象児童がいないため何も行っていないが 子どもの特性、活動内容に適切な配置で 支援します
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		個々の特性に合わせたツールを作成し 提示していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	活動後の清掃、消毒、整理整頓、必要に応じ 玩具の片付けや配置換えを行い、活動に 合わせﾃｰﾌﾞﾙや座位保持いすを設置し活動します	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	4	1	必要に応じて、相談室を、個別に対応する 支援室として使用します	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	個別支援計画書を基に、スタッフ全員で PDCAサイクルに参画していきます	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	結果を職員全員で共有し、ミーティング等 話し合いの場を設け、改善策など 話し合います	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	日々、活動後に報告し合ったり、月一回の ミーティングで意見交換、問題点など 話し合い、改善につなげていきます	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		現時点で外部評価を行っていないので、 今後の課題とします
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	外部や松戸市障害福祉課が主催する研修に 積極的に参加し、不参加者にも共有して いきます	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	5	0	ホームページに掲載し、教室内にも 掲示しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	1	現在対象児がいないが、アセスメントを 適切に行い、得たニーズを基に分析し、 計画書作成を行います	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	日々の活動や、モニタリング出の課題を 職員全員から抽出し、共通理解のもと 本人のニーズを中心に検討していきます	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	計画書を基に日々の活動や支援方法を決め、 共有し、支援に努めていきます	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	活動記録に状況を記録し、５領域に 分類されたアセスメントシートを用いて 確認していきます	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	ニーズに合わせて。本人支援の他 項目に分け具体的な支援方法を 設定していきます	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	基本のプログラムを立案後、職員全員で ミーティングで話し合い決定していきます	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	季節や個々の能力に合わせプログラムを 立案し毎週違った活動を、提供していけるよう努めます	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	個別と集団に分けて目標を設定し、 職員全員に分かりやすく提示して 支援に努めていきます	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	毎月のミーティングで支援方法を話し合い 不在の職員にも伝わるようグループ連絡ツール を活用し周知、支援に努めていきます	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	振り返り、気付いたことがあった場合は都度共有し、グループ連絡ツールを通じ共有していきます	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	毎日個別の活動記録に内容を記録し、支援内容を検証、改善に繋げるよう努めていきます	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	適切なモニタリングを行い本人と家族のニーズを中心に、見直しを行い、支援につなげていきます	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	児童発達支援管理責任者がスタッフの意見をとりまとめ、参画していきます	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	医療的ケアが必要な子どもに対しては指示書に沿って看護職員がケアし、保育教育等は、関係機関と連携し支援に努めていきます	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	必要に応じ、情報共有し、相互理解に努めていきます	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	必要に応じ情報共有し、相互理解に努めていきます	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	―	―		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	―	―		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	―	―		
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	4	1	相談員を中心に連携を取り、必要に応じ受ける機会を設けていきます	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	近隣の公共施設を利用し、活動する機会を設けていきたいと思います	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	活動記録や、送迎時などに、活動状況を伝え、必要に応じて、情報共有する場を設けていきます	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	研修会の情報提供や、必要に応じ、支援を行っていきます	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	契約時に説明を行い、必要に応じ、都度管理者によって行っていきます	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	3	2	定期的に現状、ニーズ等確認し、計画の見直しを行っていきます	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	2	作成した計画書を提示し、保護者と一緒に確認しながら支援内容の説明を行い同意のうえ支援を行っていきます	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	2	いつでも相談できる良好な関係構築を心掛け面談、必要な助言を行っていきます	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	父母の会情報や、定期的な茶話会を開催し交流の場を設けていきます	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	必要に応じ迅速に対応できるよう体制整え対応していきます	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	通信を毎月発行、X配信等で、情報を発信していきます	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報書類は施錠管理しています	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	必要に応じ迅速に対応できるよう 体制整えていきます	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	地域の方による、よみ語り会等開催し、 地域に開かれた事業運営に努めていきます	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	契約時、つうしん、茶話会などで周知し、 マニュアルは手に取れる場所に設置して います	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	毎年BCP計画の見直しを行い、 年２～３回訓練を行っています	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	2	必要に応じ、状況確認、変更が あった場合には迅速、職員に周知 対応していきます	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	必要に応じ、医師の指示書に基づく 対応をしていきます	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	年1回の見直しと、計画に沿った 必要な訓練を行っていきます	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4	1	契約時や茶話会などで説明、周知して いきます	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット報告書はすぐ手に取れる 場所に設置速やかに記入、 共有し再発防止について検討していきます	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	県や市主催の研修会に参加し、 不参加者にも情報共有しています	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	契約時に説明を行い、保護者と共通理解のもと了承を得たうえで計画書に記載します	